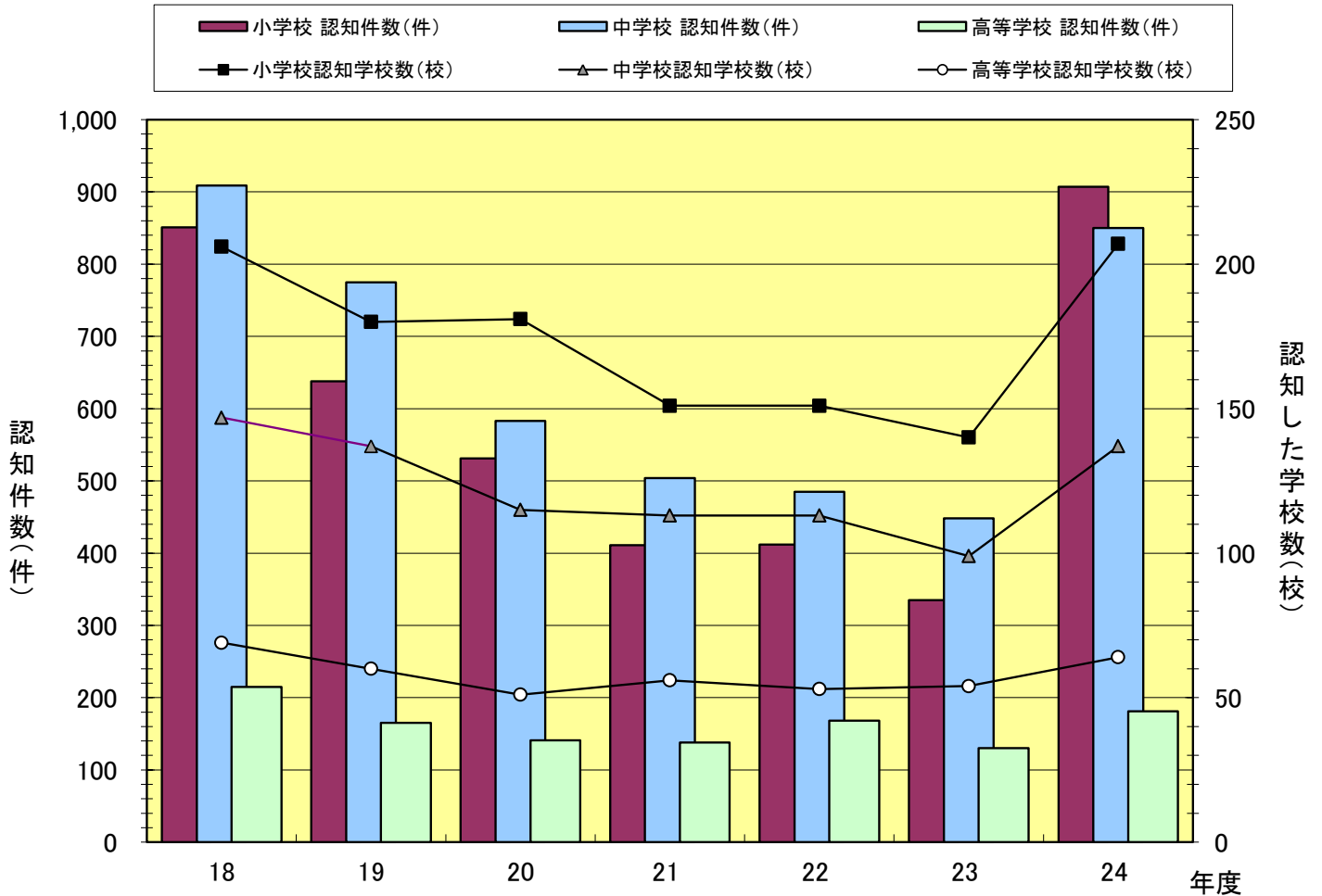


# 平成24年度児童生徒のいじめの状況について

教学指導課心の支援室

## 1 校種別認知件数及び認知した学校数の推移



		年度	18	19	20	21	22	23	24	(構成比%)
小学校	認知した学校数(校)		206	180	181	151	151	140	207	(53.8)
	認知件数(件)		851	638	531	411	412	335	907	
中学校	認知した学校数(校)		147	137	115	113	113	99	137	(68.8)
	認知件数(件)		909	775	583	504	485	448	850	
高等学校	認知した学校数(校)		69	60	51	56	53	54	64	(52.5)
	認知件数(件)		215	165	141	138	168	130	181	
特別支援学校	認知した学校数(校)		6	1	1	2	2	1	5	(25.0)
	認知件数(件)		6	1	1	2	2	1	22	
合計	認知した学校数(校)		428	378	348	322	319	294	413	(56.9)
	認知件数(件)		1,981	1,579	1,256	1,055	1,067	914	1,960	

- (注) 1 調査名：文部科学省「平成24年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」  
 2 平成24年度の調査対象校は、県内国立・公立・私立の小・中・高等学校・特別支援学校計726校  
 3 平成18年度の調査から、いじめの定義が変更となった。  
 4 構成比=いじめの認知した学校数/学校数×100

## 2 いじめ認知件数の学年・男女別内訳

〔単位：件〕

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計			
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	計	
小学校	34	34	50	48	88	62	106	97	99	73	115	101	492	415	907	
中学校	246	207	141	121	68	67							455	395	850	
高等学校	71	27	38	16	24	5							133	48	181	
特別支援学校	小学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中学部	3	0	0	0	1	0							4	0	4
	高等部	4	1	4	0	2	7							10	8	18
合 計												1,094	866	1,960		

## 3 いじめ発見のきっかけ

〔単位：件、％〕

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計 (構成比)
本人からの訴え	211	328	66	9	614 (31.3)
アンケート調査などの学校の取組により発見	210	163	16	0	389 (19.8)
学級担任が発見	226	109	28	10	373 (19.0)
本人の保護者からの訴え	148	126	22	2	298 (15.2)
学級担任以外の教職員が発見	27	47	18	1	93 (4.7)
他の児童生徒からの情報	35	34	19	0	88 (4.5)
他の保護者からの情報	27	21	9	0	57 (2.9)
学校以外の関係機関からの情報	9	3	2	0	14 (0.7)
養護教諭が発見	6	6	1	0	13 (0.7)
地域の住民からの情報	7	3	0	0	10 (0.5)
スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	1	8	0	0	9 (0.5)
その他(匿名による投書など)	0	2	0	0	2 (0.1)
計	907	850	181	22	1,960 (100.0)

## 4 いじめの態様 (複数回答)

〔単位：件、％〕

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計 (構成比)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	599	604	96	12	1,311 (66.9)
仲間はずれ、集団による無視をされる。	199	165	26	5	395 (20.2)
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	203	142	38	8	391 (19.9)
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	64	61	17	0	142 (7.2)
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	44	64	15	3	126 (6.4)
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	23	42	12	0	77 (3.9)
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	5	28	33	2	68 (3.5)
金品をたかられる。	2	7	18	2	29 (1.5)
その他	32	15	9	0	56 (2.9)
計	1,171	1,128	264	32	2,595

(注) 構成比については、各区分における「いじめ認知件数の総数」に対する割合を示す。

5 いじめの現在の状況

区分		解消しているもの	一定の解消が図られたが、継続支援中	解消に向けて取組中	その他	計
		率(%)	率(%)	率(%)	率(%)	件数
小学校	県	92.1	6.2	1.1	0.7	907
	国	90.8	6.9	2.0	0.2	117,383
中学校	県	81.9	13.8	4.1	0.2	850
	国	86.6	10.1	2.9	0.4	63,634
高等学校	県	89.5	5.5	0.6	4.4	181
	国	90.3	5.7	2.5	1.5	16,274
特別支援学校	県	100.0	0	0	0	22
	国	91.3	6.6	1.7	0.4	817
合計	県	87.5	9.3	2.3	0.8	1,960
	国	89.4	7.9	2.3	0.4	198,108

6 いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法 [単位:%]  
[複数回答]

区 分		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
アンケート調査の実施	県	96.1	94.4	75.4	30.0	90.3
	国	98.6	95.8	85.6	67.8	95.1
個別面談の実施	県	78.5	93.4	72.1	75.0	81.4
	国	79.6	91.1	78.5	63.7	82.2
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童生徒との間で日常的に行われている日記等	県	89.0	98.0	4.1	45.0	75.9
	国	53.4	76.0	10.4	37.4	53.0
家庭訪問	県	60.4	71.7	24.6	55.0	57.3
	国	59.9	66.6	24.3	36.9	56.0
その他	県	8.4	6.1	4.9	25.0	7.6
	国	4.8	4.6	4.7	15.3	5.0

・ いじめの認知件数は前年と比較して、1,046件増加した。男女とも中学校1年生で最大となる。  
 ・ いじめ発見のきっかけは、「本人からの訴え」、「アンケート調査などの学校の取組により発見」「学級担任が発見」、「本人の保護者からの訴え」の順に多い。  
 ・ いじめの態様は、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が約3分の2を占める。続いて、「仲間はずれ、集団による無視をされる」が多かった。高等学校では「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる」が3番目となっている。  
 ・ いじめの現在の状況は、「解消しているもの」が87.5%である。  
 ・ いじめの日常的な実態把握の取組として、アンケートを実施している学校は90.3%であり、個別面談を実施している学校が81.4%、個人ノートや生活ノートなど教職員と児童生徒との間で日記等が日常的に行われている学校は75.9%である。